

トップメッセージ



代表取締役社長

渡辺 光康

計測・制御技術でエネルギー課題を解決するソリューション企業

世界に大きな影響を及ぼした新型コロナウイルス感染症は落ち着いた一方で、ロシアによるウクライナ侵攻を例とする地政学的リスクの高まり、金利や物価の上昇、為替の変動など、当社グループを取り巻く事業環境は大きく変化しています。

このような環境において、私たちはいかに柔軟に変化へ対応し、プラスアルファの価値を提供し続けられるかが重要であると思います。当社グループはこれまで、電力使用量を測

るスマートメーターを軸に事業を拡大してきました。しかし、気候変動が大きな社会課題となり、私たちが提供するスマートメーターの機能そのものは大きく変わってはいないものの、それが果たす役割に変化が生じています。これまでは、主に電気代の請求目的だった電力使用量の計測が、いまでは脱炭素化を推進するための重要なCO₂排出データとして活用されています。

最重要課題である、脱炭素化への取り組み

エネルギーを取り巻く環境として国際社会の大きな課題であり、SDGs目標の一つでもある脱炭素化は、当社グループでも経営の最優先課題と認識しており、その実現に向けて、エネルギー・ソリューション事業の推進を強化しています。

大崎電気グループの強みである「電力使用量を測る」技術は、CO₂を排出する電力がいつ、どこで、どれだけ、どのように

使用されているかのデータを収集するために活用され、脱炭素化に向けた施策を考える上で重要な役割を担っています。

グループの技術やノウハウの集結と活用、さらには研究開発を推進することにより、グローバル社会全体のエネルギー利用効率化に貢献する一方、自社拠点での脱炭素化に向けた活動も進めています。

パートナーとともに、新たな付加価値の創出へ

大崎電気では、オープンイノベーションラボ「NEXT 100teX Lab(ネクスト ヒャクテックスラボ)」を開設し、さまざまな企業との連携を通して新たな価値創造を推進してい

ます。今後もパートナーシップを通じて、豊かな地球と社会の実現に向けた新たなビジネスの創出に取り組めます。

価値観を明確化、企業文化の醸成

私は、大崎電気グループがGlobal Energy Solution Leaderとして持続的に成長していくためには、環境保全や社会課題を自分ごととして捉え、課題解決に向けてチャレンジする企業風土が重要であると考えます。また、サステナブルな社会の実現に向けて、全ての従業員が自然に行動する企業文化をつくり上げていきたいと思っています。

そのためには、私たちが大切にしている会社の価値観を共有し、グループ全体が同じ方向を向いて進んでいくことが重要です。まずは、この価値観を明確化するために、従業員、お客さま、取引先などのステークホルダーの皆さまと対話を行うこととしました。

また、当社では人的投資の強化を進めており、その一環で従業員を対象としたSDGs教育プログラムを立ち上げました。このプログラムを通して全ての従業員がSDGsや持続可能な社会の実現に向けた取り組みを理解し、みずから積極的に推進する環境を整備しています。

100年後も社会に必要とされるグローバル企業であり続けるため、大崎電気グループは常に社会と共に成長し、進化を続け、豊かな未来の創造に貢献してまいります。

皆さまの温かいご支援をお願いいたします。